

## 第5・6学年複式国語科学習指導案

日 時 平成24年 9月28日(金) 5校時  
 児 童 5年生6名 6年生4名  
 指導者 三 浦 大 栄

### 【5年生】

- 1 単元名 理由付けを明確にして説明しよう
- 2 学習材名 「天気予想する」(筆者:武田康男)  
「グラフや表を引用して書こう」
- 3 身に付けさせたい言語能力とそれに迫るための中核となる言語活動及び言語活動の特徴

#### 言語能力

- ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを的確にしながら読んだりする力  
(読むこと ウ)
- ・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書く力  
(書くこと エ)
- ・表現の効果などについて確かめたり工夫したりする力  
(書くこと オ)

#### 言語活動

【「これからの食料生産の在り方」について  
 説明文を書く】  
 図表やグラフを効果的に用いながら、自分の考えをより効果的に伝えるための説明文を書く。

#### 特徴

- ・図・グラフ・写真などの資料の効果的な使い方をとらえることで、筆者の考えに説得力をもたせるために有効であることがわかる。
- ・「これからの食料生産の在り方」についての説明文を書くとき、効果的な資料を探し、提示しながら説明することで、説得力をもった論の展開ができる。

### 【6年生】

- 1 単元名 読み取ったこと、感じ取ったことを表現しよう
- 2 学習材名 『鳥獣戯画』を読む(筆者:高畑 勲)  
「この絵、わたしはこう見る」
- 3 身に付けさせたい言語能力とそれに迫るための中核となる言語活動及び言語活動の特徴

#### 言語能力

- ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを的確にしながら読んだりする力  
(読むこと ウ)
- ・事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする力  
(書くこと ウ)

#### 言語活動

【「絵画鑑賞文」を書く】  
 ものの見方や感じ方の表現を工夫し、多くの人によさが伝わるような絵画の鑑賞文を書く。

#### 特徴

- ・筆者の見方・考え方を読み取ることにより、絵画の価値を深く感じ取ることができる。
- ・図版と文章を照らし合わせることで、筆者がどのように評価しているかがわかる。
- ・効果的な書き出しや表現言語を使った鑑賞文を書き、説明することで、聞き手にその作品のよさを理解してもらうことができる。

## 4 単元について

### (1) 児童について

児童は、4年生の学習において、写真と文章を対応させて読み、説明の工夫について考える学習に取り組んできた。また、1学期に「生き物は円柱形」の文章を読んで、文章の書かれ方や文章構成に着目して要旨をとらえる学習にも取り組んできた。これらの学習を通して、説明文の文章構成をとらえたり、写真や図、絵を使うとわかりやすくなることをとらえたりする力がついてきた。また、例文を示すと、文章構成に沿って文章を書く力もついてきている。しかし、自分の考えとその根拠となる理由付けとの関連がなかったり、図表等を効果的に用いたりする力は十分とはいえない。このような実態を踏まえ、身に付けさせたい言語能力に迫るための言語能力をpushしていきたい。(指導計画参照)

### (2) 学習材について

本単元で取り扱う学習材「天気を予想する」は、表・図・グラフを用いながら事実が説明されている。各資料が何を表しているかを読むこと、それらを文章と対応させること、資料があることで説得力が増しているかを確かめることなどを学習することができる。また、全体の構成、記述の仕方についても、説明の効果を確かめることができる。さらに、説明文を書く際には、「グラフや表を引用して書こう」を参考に、自分の考えを分かりやすく説得力をもって読み手に伝える文章を書くために、調べ学習を通して収集した情報を、グラフや表を効果的に用いることの大切さを学ぶことができる。以上のことから、これらの学習材を扱いながら学習を進めることで、身に付けさせたい言語能力に迫ることができると思う。

### (3) 指導について

本単元では、自分の考えの理由付けを明確にするための手法として、図表やグラフを効果的に用いながら説明文を書くという言語活動を通して、単元でねらう言語活動に迫っていききたい。そのために、各段階において、以下のことを工夫していききたい。

つかむ段階では、社会科の「これからの食料生産について」交流会で、自分の考えを伝えるための効果的なまとめ方を学ぶということに結び付けて興味・関心や課題意識をもたせるとともに、中核となる言語活動に向けての学習計画を立てさせ、単元の見通しをもたせたい。

深める段階では、「天気を予報する」を扱い、資料を効果的に用いることのよさを理解させるとともに、全体の構成や記述の仕方について、説明の効果をとらえさせていききたい。

## 4 単元について

### (1) 児童について

児童は、1学期に「生き物はつながりの中に」の文章を読んで、筆者の主張・根拠をとらえ、それについて自分はどうか考えるのかを要約文にまとめる学習に取り組んできた。これらの学習を通して、筆者の主張やその根拠となる具体例をとらえながら読み取る力がついてきた。また、様式に応じて文章を書く力もついてきている。しかし、自分の考えを伝えるための表現の方法を工夫したり、考えを裏付ける根拠との関連を図ったりする力は十分とはいえない。このような実態を踏まえ、身に付けさせたい言語能力に迫るための言語能力をpushしていきたい。(指導計画参照)

### (2) 学習材について

本単元で取り扱う学習材『鳥獣戯画』を読む』は、絵の解説と解釈、評価からなる評論文としての特徴をもつ。文章だけ読んでも、述べられていることを十分に理解することができず、絵と文章を合わせて読むように書かれている。このことから、絵を読む力、文章と絵を読む力を育てるのに適していると言える。また、体言止めや語りかけるような表現等、特徴的な書き方がされており、ものの見方や考え方を読者に伝えるための筆者の工夫を学ぶことができる。さらに、鑑賞文を書く際には、「この絵、わたしはこう見る」の中で書かれている「読み取ったり感じ取ったりするための視点」「それらを表す視点」等を進めることで、身に付けさせたい言語能力に迫ることができると思う。

### (3) 指導について

本単元では、事物のよさを多くの人に伝えるために、絵の鑑賞に焦点をあてて鑑賞文を書くという言語活動を通して、単元でねらう言語能力に迫っていききたい。そのために、各段階において、以下のことを工夫していききたい。

つかむ段階では、図画工作科の鑑賞を思い出したり、鑑賞文を比較したりすることを通して絵の鑑賞文を書くことへの興味・関心・課題意識をもたせるとともに、「鑑賞文を書く」という中核となる言語活動に向けての学習計画を立てさせ、単元の見通しをもたせたい。

深める段階では、『鳥獣戯画』を読む』を扱い、図版と文章を照らし合わせながら、筆者がどのように評価しているかを読み取ることを通して、ものの見方を伝えるための筆者の工夫(構成、表現、書き出し、資料の見せ方等)とその効果をとらえさせていききたい。

活かす段階では、深める段階で学んだことをもとに、「グラフや表を引用して書こう」を扱いながら、自分が説明する「これからの食料生産の在り方」に関する内容について、より効果的に伝える説明文の構成や図表等の扱い方を考えさせて説明文を書き進めさせていきたい。

広げる段階では、説明文を互いに読み合い、交流する中で、より効果的な説明のあり方を検討させ、社会科の学習でとつなげていきたい。

## 5 単元の目標

### 【国語への関心・意欲・態度】

- ・グラフや表の有効性に気付き、それらを効果的に用いて説明文を書こうとする。

### 【読むこと】

- ・筆者の主張、論の進め方、図表等の活用について、その有効性を考えながら読み取ることができる。(ウ)

### 【書くこと】

- ・自分の考えを根拠付けたり、具体例を示したりする際に、効果的に引用したり図表やグラフを用いたりすることができる。(エ)
- ・自分の考えが明確に伝わる構成を考えるとともに、表現の効果を考えながら説明文を書くことができる。(オ)

### 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。(1) イーキ

## 6 単元の評価規準

### 【国語への関心・意欲・態度】

- ・説明に説得力をもたせるときの、グラフや表の有効性に気付き、書いたものを読んで確かめようとしている。

### 【読む能力】

- ・筆者の主張、論の進め方、図表等の活用について、その有効性と結び付いて読み取っている。(ウ)

### 【書く能力】

- ・「図Iは～」等の表現を用いて、本文との関連を示している。(エ)
- ・自分の考えについて、相手が理解しやすいように、序論・本論・結論の構成で説明文を書いている。(オ)

### 【言語についての知識・理解・技能】

- ・説明文の構成要素を理解して文章を書いている。(1) イーキ

活かす段階では、深める段階で学んだ視点のもとに、「この絵、私はこう見る」を扱いながら、鑑賞文の要素や構成の特徴、表現の工夫等を具体的に確認したい。そして、鑑賞文の構成に沿ってまとまりごとにポイントや伝えるための工夫を意識させながら、鑑賞文を書き進めさせていきたい。

広げる段階では、鑑賞文を互いに読み合い、交流する中で、様々な見方や感じ方があることに気づかせるとともに、図画工作科の言語活動へとつなげていきたい。

## 5 単元の目標

### 【国語への関心・意欲・態度】

- ・絵画に興味をもつとともに、自分なりに絵から読み取ったことを伝えようとする。

### 【読むこと】

- ・ものの見方を伝えるための筆者の工夫（構成、表現、書き出し、資料の見せ方等）とその効果を理解することができる。(ウ)

### 【書くこと】

- ・絵から感じたことの中から書くことを決め、全体を見通して事柄を整理することができる。(ア)
- ・事実と感想、意見などを区別するとともに、見た絵の様子を簡単に書いたり詳しく書いたりすることができる。(イ)

### 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。(1) イーカ

## 6 単元の評価規準

### 【国語への関心・意欲・態度】

- ・絵画に興味をもち、自分なりに絵から読み取ったことを伝えようとしている。

### 【読む能力】

- ・筆者がどのようなことを根拠として考えを述べているかをとらえるとともに、筆者の意図と表現の工夫との関連について考えている。(イ)

### 【書く能力】

- ・たくさんある情報を適切に区別したり関連付けたりしている。(ア)
- ・読み取ったことと、感じたことをかき分けながら、鑑賞文の構成を意識して鑑賞文を書いている。(イ)

### 【言語についての知識・理解・技能】

- ・読み取ったことや感じ取ったことを表す表現や視点を表す表現等を文章の中で使っている。(1) イーカ

7 第5学年 単元の指導計画（12時間） ※ 本時は太字部分

| 段階<br>(時数)  | 主な学習活動   | 評価規準 (評価方法)  | 身に付けさせたい言語能力に迫るための<br>言語活動の位置付け   |
|---|--|--|---|
| <p><b>【つかむ】</b><br/>中核となる言語活動を知り、学習の見通しをもつ。<br/>(2)</p>     | <p>①②社会科「これからの食料生産」についての意見交流会にむけて、より説得力をもたせるためのまとめ方について学ぶという学習計画を立て、単元の見通しをもつ。</p> <p>自分の考えをより効果的に伝えるための説明文のまとめ方を学び、「これからの食料生産」についての説明文を書こう。</p>                 | <p>①②単元の学習への課題意識をもつとともに、学習への見通しをもって学習計画を立てようとしている。<br/>(発言、シート) <b>【関-1】</b></p>   | <p><b>【中核となる言語活動】</b><br/>自分の意見をより効果的に伝えるための説明文を書く。<br/>・ 論の展開→学習材文の展開を参考に考える。(○)<br/>・ 図表等の使い方→学習材文での使い方を参考に考える。(☆)<br/>※ テーマ→社会との関連を図る。</p>   |
| <p><b>【深める】</b><br/>学習材文を読んで、論の進め方や図表の有効性を理解する。<br/>(4)</p> | <p>③④要旨を押さえるとともに、文章中の三つの問いと答えの関連を考える。</p> <p>⑤筆者が表・写真・図・グラフ、数値を用いた意図やそれらが読者に与える効果について、文章のみの場合と比較して考える。(本時)</p> <p>⑥筆者の論の展開の仕方や説得力をもたせるための表現の工夫について、自分の考えをもつ。</p> | <p>③④要旨が書かれている段落を押さえるとともに、それを裏付ける三つの問いと答えを見付け、それぞれの関連を読み取って整理している。<br/>(発言・シート) <b>【読-1】</b></p> <p>⑤表・写真・図・グラフ、数値の使い方について、筆者の意図やその効果に気付いている。<br/>(発言、シート) <b>【読-2】</b></p> <p>⑥筆者の論の展開の仕方や表現の工夫について、活かしたいこと等、自分の考えを書いている。<br/>(発言、シート) <b>【読-3】</b></p> | <p>③④：○「序論・本論・結論」のまとまりをつかむことができる。<br/>○要旨をつかむことができる。<br/>○筆者が論の展開として位置付けている三つの問いとその答えにあたる部分を見付けることができる。<br/>○要旨及び三つの問いと答えの関連が分かる。</p> <p>⑤：☆図表等を用いる効果について分かる。</p> <p>⑥：○☆筆者の論の展開の仕方や表現の工夫について、自分の考えをもつことができる。</p> |
| <p><b>【活かす】</b><br/>説明文の構成や図表を効果的に用い、説明文を書く。(4)</p>         | <p>⑦前時までの学習をもとに、効果的な説明文の構成を決め、構成メモを作成する。</p> <p>⑧⑨⑩自分の意見の根拠となる事実について、効果的な図表等の使い方を考え、その部分の文章を書く。</p>  | <p>⑦学習材文の構成をもとに、効果的な意見文の構成について考え、構成メモを作成している。(シート) <b>【書オー-1】</b></p> <p>⑧⑨⑩序論・本論・結論において、図表等を効果的に用いて文章を書いている。(シート) <b>【書イー-1, 2, 3】</b></p>  | <p>⑦：○説明文の構成について考え、構成メモを作成することができる。</p> <p>⑧⑨⑩：○序論・本論・結論において、図表等を効果的に用いることができる。<br/>☆図表等と文を結びつけながら文章を書くことができる。</p>  |

身に付けさせたい言語能力を説明文の構成要素として盛り込むことで、言語活動を通して言語能力を身に付けさせることに迫る

|   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| <p><b>【広げる】</b><br/>自分の考えを伝え合い、交流する。(2)</p> | <p>⑪グループでお互いの意見文についてアドバイスし合い、推敲を重ねる。<br/>(交流会は、社会科で行う。)</p> <p>⑫単元をふり返る。</p> | <p>⑪全体としての論の展開のつながりや友達のアドバイスを参考に推敲をしている。(発言・作品)【書オ-2】</p> <p>⑫単元を通して学んだことなどを振り返り、記述している。(シート)【関-2】</p> | <p><b>【身に付けさせたい言語能力】</b></p> <p>◎引用したり、図表やグラフなどを効果的に用いたりして、自分の考えが伝わるように書く力</p> <p>○筆者の主張、論の進め方、図表等の活用について、その有効性を考えながら読み取る力</p> |
|---|--|--|--|

7 第6学年 単元の指導計画(12時間) ※本時は太字部分

| 段階(時数)  | 主な学習活動   | 評価基準(評価方法)  | 身に付けさせたい言語能力に迫るための言語活動の位置付け   |
|---|--|---|---|
| <p><b>【つかむ】</b><br/>中核となる言語活動を知り、学習の見通しをもつ。(2)</p>    | <p>①図画工作科の鑑賞を振り返るとともに「風神雷神図屏風」を見て絵を説明する文を書き、昨年度実践した前6年生の鑑賞文と比較し違いを考える。</p> <p>②題名について話し合うとともに、単元の学習計画を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>鑑賞文で名画や友達の作品のよさを伝え合おう。</p> </div> | <p>①既習の学習経験や鑑賞文の比較を通して、単元の学習への興味をもつとともに、課題意識をもっている。<br/>(発言・シート)【関-1】</p> <p>②学習への見通しをもち、学習計画を立てようとしている。<br/>(発言・シート)【関-2】</p>  | <p><b>【中核となる言語活動】</b><br/>絵画のよさを伝えるための鑑賞文を書く。<br/>・構成→序論(大まかな作品紹介)本論(詳しい作品紹介)結論(作品に対する自分の思い)(○)<br/>☆筆者のものの見方→事実(絵の解説)感想、意見(解釈、評価)(☆)</p>   |
| <p><b>【深める】</b><br/>学習材文1を読んで、筆者の工夫とその効果を理解する。(4)</p> | <p>③序論・本論・結論に分け、序論の文章を読み取る。</p> <p>④要旨をまとめ、『鳥獣戯画』に対する筆者の主張を考える。(本時)</p> <p>⑤⑥本論を読み取り、筆者の主張に対する自分の考えを書く。</p>  | <p>③文章構成をつかむとともに、絵と文章を合わせて読むことを理解している。<br/>(発言・シート)【読-1】</p> <p>④要旨のまとめ方の視点をもとに、筆者の主張をとらえることができる。<br/>(発言・シート)【読-2】</p> <p>⑤⑥絵の「何を」「どのように」評価し、どんな言葉で表現しているか、整理して読み取っている。<br/>(発言・シート)【読-3】</p>                            | <p>③：○文章を序論・本論・結論に分けることができる。<br/>☆絵の解説と評価を整理して読むことができる。</p> <p>④：☆要旨をまとめることができる。<br/>(絵の解説と評価を整理して読むことを通して)</p> <p>⑤⑥：☆筆者の主張とその根拠をとらえることができる。<br/>☆巧みな叙述が分かる。</p>   |
| <p><b>【活かす】</b><br/>表現や構成の仕方を工夫し、鑑賞文を書く。(4)</p>       | <p>⑦前時までの視点をもとに、「風神雷神図屏風」絵の中に「何が」「どのように」かかれ、自分はどんなことを感じたか、箇条書きで書く。</p> <p>⑧書き出しの例を参考にしながら、鑑賞文の序論部分を書く。</p> <p>⑨本論の記述例を比較しながらそれぞれの特長をつかみ、自分の鑑賞文の本論部分を書く。</p> <p>⑩結論部分を書き、鑑賞文全体のつながりを考えて推敲する。</p>                            | <p>⑦絵から読み取ったことと自分が感じたことをシートに書いている。<br/>(シート)【書ア-1】</p> <p>⑧それぞれの書き出しのよさを知り、よいと思ったものを活かして書いている。(シート)【書イ-2】</p> <p>⑨絵にかかっている様子を簡単に書いたり詳しく書いたりしながら、自分が感じたことと書き分けている。【書イ-3】</p> <p>⑩結論を書き、文章全体のつながりを考えて推敲している。(シート)【書イ-4】</p> | <p>⑦：☆自分が感じたことを事実と感想・意見に分けることができる。</p> <p>⑧：○書き出しの特長がわかる。<br/>○書き出しの特長を活かして書くことができる。</p> <p>⑨：☆読み取ったことや感じたことを表す表現が分かる。<br/>○事実と意見、感想を書き分けることができる。</p> <p>⑩：○文章全体のつながりを考えて推敲することができる。<br/>○様々な見方や感じ方があることに気付くことができる。</p> |

身に付けさせたい言語能力を鑑賞文の構成要素として盛り込むことで、言語活動を通して言語能力を身に付けさせることに迫る

|   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| <p>【広げる】<br/>鑑賞文を交流するとともに、図画工作科の鑑賞学習に活かす。<br/>(2)</p> | <p>⑪お互いの鑑賞文を交流する。<br/><br/>⑫を振り返る。</p> | <p>⑪鑑賞文を読み合い、様々な見方や感じ方があることに気付いている。<br/>(シート)【関-3】<br/>⑫を通して学んだことを振り返りに記述している。(シート)【関-4】</p> | <p><b>【身に付けさせたい言語能力】</b><br/>◎文末表現などを工夫して、自分の見方・考え方を効果的に伝える文章を書く力<br/>(鑑賞文)<br/>○筆者のものの見方をとらえ、事実と感想・意見の部分を整理して読む力</p> |
|---|--|--|---|

8 本時の指導（5／12）

(1) 目標

- ・表・写真・図・グラフ、数値を用いた意図や効果に着目して、説明の仕方について自分の考えをもつことができる。

(2) 思考力・判断力・表現力を高める指導にあたって

本時では、前時にまとめた文章構成をもとに、「筆者の論の展開の書きぶりに対して、自分の考えをもつ力」を付けるために、表現の工夫について考えさせたい。この中で、事例と結びつく資料どちらか、学習シートに書かせることで筆者の考えの根拠を明らかにさせたい。全体の検討の場においては、一人一人の資料の見つけ方の根拠を聞き合い、妥当性を話し合う中で再度考えたり、納得したりすることができるよう、意図的指名をしたり、児童から発表されなかった根拠となる点を教師から問いかけたりしていきたい。そして、資料がある説明文のよさをしっかり位置付けさせていきたい。

(3) 展開

| 5 学年  |  |  |                                     |
|---|--|--|-------------------------------------|
| 指導上の留意点と評価規準  | 学習内容   | 学習活動   | 時間                                  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までで学んだことの中から、本時につながる学習を想起させる。</li> <li>・本時は、事例と関連する資料を結びつける、筆者の意図を考えることを確認する。</li> </ul>  | <p><b>【前時までの学習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章構成「本論・本論・本論・結論」</li> <li>・効果的な資料</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">筆者の考えの根拠のもとになる事例の意図を考えよう。</p>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本時につながる学習の想起をする。</li> <li>2 学習課題を確認する。</li> </ol>   | <p>導入</p> <p>⑤</p>                  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料がある場合とない場合を比較させ、資料があるよさを考えさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【具体的評価規準】</b></p> <p>4 (2) の活動において (読-2)</p> <p>A: 事例全般をもとに、表やグラフの読み方が何を表しているのかを読み取り、筆者の意図を考え、その効果を考えながら当てはまる事例に結び付けている。</p> <p>B: 事例全般をもとに、表やグラフの読み方が何を表しているのかを読み取り、当てはまる事例に結び付けている。</p> <p>C児への支援</p> <p>各事例には、どのような内容のものか、問いと要点を基に考えさせる。</p> </div> | <p><b>【資料の視点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例の意図が伝わる有効な資料はどれか。</li> </ul> <p><b>【事例と資料が結びつく視点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真（ひと目で伝わる）</li> <li>・データ（説明の具体化）</li> </ul> <p><b>【考える視点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を選んだ筆者の意図とその効果はどういったものか。</li> </ul> | <ol style="list-style-type: none"> <li>3 本論1の資料なしの事例を読み、資料があることのよさを考え、どの資料が必要か考える。</li> <li>4 本論2、3で使われている資料はどれか考える。             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 事例と資料が結びつくように、文章シートに資料を貼る。</li> <li>(2) その事例と資料が結びつく理由を、シートに書く。</li> <li>(3) 理由をグループで意見交流する。</li> </ol> </li> <li>5 全体の場で、意見交流する。</li> </ol> | <p>直接 ⑩</p> <p>間接 ⑮</p> <p>直接 ⑩</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容にかかわる項目へのチェックと記述による自己評価をさせる。</li> <li>・学習してわかったこと等を発表させ、友達のがんばりを認め合わせる。</li> <li>・次時は、文章そのものにおける筆者の説明の工夫とめることを確認する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例と資料を結びつけることができたか。</li> <li>・事例と資料を結びつけた意図を考えることができたか。</li> </ul>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>6 学習のまとめをする。             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 本時で学んだことを書く。</li> <li>(2) 発表する。</li> </ol> </li> <li>7 次時の学習内容を確認する。</li> </ol>   | <p>まとめ ⑤</p>                        |

8 本時の指導 (4 / 12)

(1) 目標

- ・『鳥獣戯画』に対する筆者の考え方をとらえ、要旨をまとめることができる。

(2) 思考力・判断力・表現力を高める指導にあたって

本時では、筆者は『鳥獣戯画』の「何を」「どのように」評価し、それをどんな言葉で表現しているかを整理して読み取らせることを大切にして学習を進めていきたい。このとき、本時は要旨をまとめる時間であるので、筆者のものの見方の中から感想・意見（筆者の解釈・評価）にスポットをあてながら要旨をまとめていき、それに対する自分の思いや考えを書かせていきたい。そして、次時に学習する絵の解説部分を読み取っていきながら、筆者の主張に対する自分の思いや考えを深めさせていきたい。

(3) 展開

| 6 学年     |  |   |   |   |
|----------|--|---|---|---|
| 時間       | 学習活動   | 学習内容  | 指導上の留意点と評価規準  |   |
| 導入<br>⑤  | 1 本時につながる学習の想起をする。   | 【前時までの学習】<br>・文章構成「序論」「本論」「結論」  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までで学んだことの中から、本時につながる学習を想起させる。</li> <li>・本時は、筆者が『鳥獣戯画』をどのように評価しているのか、要旨をまとめながら理解することを確認する。</li> </ul>  |   |
|          | 2 学習課題を確認する。   |   |   | 筆者は、『鳥獣戯画』をどう評価しているか読み、要旨にまとめよう。  |
| 間接<br>⑩  | 3 文章中から、結論部を見つける。<br>(1) 絵に対する評価する言葉を見つけ、書き出す。                           | <b>【結論を見つける視点】</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の主張が多い段落はどこか。（評価している文が多い）</li> </ul><br><b>【要旨にまとめる視点】</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・評価する文を短くまとめ上げる。</li> </ul><br><b>【筆者の気持ちを考える視点】</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・「国宝」「まんがの祖」「アニメの祖」から「国宝であるだけでなく、人類の宝」と評価の言葉の高まりの様子</li> </ul><br><b>【交流する視点】</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えと友達の考えの相違。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・結論を見つける視点をもとに、絵の評価が書かれている文を見つけさせる。</li> <li>・字数制限を設け、要旨を正確に読み取らせる。</li> <li>・筆者の評価が序論から結論へどう高まり広がっていったかを、キーワードで示しながら読み取らせる。</li> </ul>          |   |
| 直接<br>⑮  | 4 要旨にまとめる。<br>(1) 評価する文を使って要旨にまとめる。<br><br>(2) 要旨から、筆者の『鳥獣戯画』に対する思いを考える。 |   |   | <b>【具体的評価規準】</b><br>4 (1) (2) の活動において (読-2)<br>A : 『鳥獣戯画』を筆者がどのように評価しているのか読み取って要旨にまとめ、『鳥獣戯画』に対する筆者の思いを考えている。<br>B : 『鳥獣戯画』を筆者がどのように評価しているのか、筆者の考え方をとらえ要旨をまとめている。<br>C 児への支援<br>キーワードを示しながら、評価する文のどれを用いて要旨にまとめていけばいいか確認しながら書かせる。 |
| 間接<br>⑩  | (3) 全体で筆者の思いを発表し合い、交流する。   |   |   |   |
| まとめ<br>⑤ | 5 学習のまとめをする。<br>(1) 本時で学んだことを書く。<br>(2) 発表する。<br><br>6 次時の学習内容を確認する。     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の思いをつかむことができたか。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容にかかわる項目へのチェックと記述による自己評価をさせる。</li> <li>・学習してわかったこと等を発表させ、友達のがんばりを認め合わせる。</li> <li>・次時は、本論を読み取りながら、筆者の考えに対して自分はどうか考えたか対話することを確認する。</li> </ul> |   |